



第15回

チャリティ市民クリスマス  
～YMCA国際協力募金・災害復興支援募金～

# キャロルを歌う夕べ

日時：2019年12月20日(金)

午後7時開演 (30分前開場)

場所：宝塚ベガ・ホール(入場無料)

## プログラム

### 第1部 朗読と音楽でつづるクリスマス物語

オルガン：崎本晴子 ピアノ：北野友梨・平高数子・坂部友淳  
合奏：アンサンブル・ダカーポ  
独唱：田中良和(テノール)  
合唱：2019市民クリスマス合唱団・宝塚厚生幼稚園年長児  
曲目：主イエスは我らの喜び(バッハ作曲カンタータ147番より)  
青少年のためのアヴェ・マリア(松下 耕作曲)  
リコーダー協奏曲ニ短調Op9-2より(アルビノーニ作曲)  
遙かなるクリスマス(さだまさし作詞・作曲) ほか

### 第2部 みんなでキャロルを歌おう

ベル合奏：ポップン・リンガーズ  
ゴスペル合唱：宝塚厚生幼稚園のお母さん  
関西学院大学(三田キャンパス)  
フラチーム“マハロ”  
キャロルを歌おう：キャロルの花束  
フィナーレ：ハレルヤ・コーラス



主催：神戸YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ

協力：日本キリスト教団宝塚教会・甲東教会・宝塚厚生幼稚園・ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部

後援：宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市国際交流協会・宝塚市文化財団・関西学院同窓会宝塚支部

連絡先：若林成幸 090-9708-0071 shige-wakabayashi@nifty.com



## 市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」から「みんなで作る One Xmas」へ

1980年代、当時の仁川教会 茂 洋牧師が提唱し、今津線沿線にある幾つかの教会が協力して生まれた「クリスマス・キャロルの夕べ」は、神戸女学院音楽部学生有志のアンサンブルに各教会の聖歌隊が参加し、諸教会の会員が集う行事として大きな恵みが与えられました。しかし、諸般の事情から2004年を最後に休止となってしまいました。

その頃、YMCA・宝塚ワイズメンズクラブは、地域活動の在り方を模索する中で、地域社会のニーズに応え、教会音楽を通じてクリスマスの意義を広く市民に伝え、あわせて困難な境遇にある人々を覚えて支援の手をさしのべる機会とするために、音楽愛好のボランティアを募って市民参加型の「市民クリスマス・キャロルを歌う夕べ」に衣替えてこれを継承することになりました。今回で15回目を迎えるようとしています。

この間、多くの合唱や器楽演奏のボランティア・専門家の出演協力を戴き、また、運営面では、クラブのバザーや普段の資金作り活動から得た準備金、地域教会の協力献金、合唱ボランティアの出演協力金をもとに必要な経費を賄うことができました。回数を重ねる度に、出演者やお客様の顔ぶれは多彩となり、幼稚園児・小中高生徒・大学生・社会人・高齢者と世代や障害を乗り越えてお集まりいただくようになりました。

このように多様な個性が輝ける場所には、この時代が求めている「何か」が隠されていると考えています。これからも思いを新たに、時代や地域のニーズに応える市民クリスマスでありたいと願っています。

次の挑戦テーマは「みんなで作る One Xmas」。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

コンサートは「朗読と音楽で綴るクリスマス物語」で開演。「イエス・キリスト誕生の良き知らせ」を朗読から学び、数々の音楽を通して喜びを味わいます。

朗読者には近隣教会から神父・牧師やボランティアを招き、2005年（第1回）は、芹野牧師夫妻が香山彬子著「聖書物語～イエスの誕生～」を朗読されました。今回は田中良和氏のテナー独唱にご期待下さい。



宝塚厚生幼稚園の年長児が元気の一杯に響かせます。この喜びを忘れないでね。



2009年から10年連続出演。知的障害のりこえ、個性的なベル演奏を披露してくれる“ポップン・リンガーズ”は、このコンサートの主役かも。1年間の練習を積み上げ、純粹無垢な演奏スタイルが感動の涙と拍手を誘います。「私は今夜、天使の姿を見た」は、ある牧師の証言でした。



お客様にも参加していただいで賛美歌メロディ「キャロルの花束」を合唱します。弦楽アンサンブル「ダカーポ」は2008年から連続出演。



このコンサートが縁で誕生した関西学院大学（三田キャンパス）のフラチーム“マハロ”は2010年から連続出演。4年生にとっては今夜が卒業公演。心を込めて「きよしこの夜」「震災復興支援ソング」を披露します。



コンサートが終わるとロビーで「YMCA 国際協力募金・AIDS 撲滅募金・震災被災者支援募金」等の呼びかけを行い、神戸YMCAを通じ関係先へ送金しました。2005年から2018年までの累計額は1,862,246円となりました。感謝。



フィナーレは、お客様も舞台に上がって「ハレルヤ」コーラスを熱唱します。

